

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名			
事務事業名				R2決算額(円)	内 人件費	2 評価責任者氏名		
		内 直接事業費			3 妥当性評価			
			事務事業評価					
			内 人件費	4 有効性評価				
			24,549,481	5 効率性評価				
1	交通基盤の整備	各種協議会と連携し、幹線道路等の遼美半島での必要性の認識を高め、地元・関係機関と相互に協力、調整をとりながら整備の早期実現を図る。	982,686	1 都市建設部 建設課	広域幹線道路の現状を把握するため、調査・研究としての研修会や現地視察を実施する。関係市町、関係機関、市内関係部署との連携を密にし、広域幹線道路の早期整備に向けた計画確立が課題。	令和3年3月策定の新広域道路交通計画(広域道路ネットワーク計画)にて「遼美半島道路」、「三遠伊勢連絡道路」、「三河湾口道路」が構想路線として計画化され、実現に向けて大きなステップを踏んだ。	遼美半島における広域幹線道路について、各種協議会・期成同盟会の活動等により、国・県等への要望活動を行い早期実現を目指す。特に、「遼美半島道路」は、起点となる豊橋市との連携を深め、実現に向けた研究に取り組む。	
	40101010		23,566,795	2 村上 知成				
	広域幹線道路整備促進事業		15,673,924	3 極めて高い				
			382,521	4 極めて高い				
			15,291,403	5 普通				
2	交通基盤の整備	市民生活や産業活動において重要な都市基盤である市内幹線道路の道路交通における利便性、安全性、快適性等の向上を図るため計画的な整備を行う。	219,756,498	1 都市建設部 建設課	交通量が多く交通弱者安全確保が急務且つ国土強靱化を図る上で機能確保が必須である1・2級市道は、国費補助等を活用しながら集中的・計画的に道路改良を推進する必要がある。田原市道路整備プログラムに基づき整備対象路線の優先路線の整備を推進する。	4路線の整備進捗を図り、1路線の歩道を延伸、特に、沿道の民間事業者集客施設整備との連動した交通環境整備を推進した。臨海部の渋滞解消では、適時の愛知県整備要望からの早急な事業化を実現し、田原1区内道路の4車線化整備を完了した。	公共施設整備に係る周辺道路整備の着実な推進を図る。また、課題解消に向けた道路整備プログラムの整備推進により国土の強靱化を推進する。	
	40102010		39,194,687	2 村上 知成				
	幹線道路整備事業		283,877,566	3 極めて高い				
			266,692,766	4 極めて高い				
			17,184,800	5 高い				
3	交通基盤の整備	老朽化した橋りょうや河川の改修に伴う橋りょうの改修を行い、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	884,231	0 都市建設部 建設課	道路・河川の拡幅整備及び老朽化への対応に伴い、橋りょうの架け替えが必要となっている。迂回路や整備ヤードなど施工計画を策定し、関係者協議など綿密な準備の上で長期の交通規制を伴う施工が必要であり、事業着手時には集中的且つ連続的な投資が必要となる。	道路拡幅改良の進捗に合わせた橋梁架け替えの計画検討を推進した。	厳しい予算事情において、高額となる建設費の集中的な投資により効果的な道路の改良に努めると共に、橋りょう整備に伴う、迂回路、整備期間について、関係者と綿密に調整を行うことにより、交通の混乱を避けながら計画的な事業の進捗を図る。	
	40102020		884,231	2 村上 知成				
	橋りょう整備事業		359,989	3 極めて高い				
			0	4 極めて高い				
			359,989	5 普通				
4	交通基盤の整備	愛知県が実施する公共事業に必要な事業用地の円滑な取得を図る。	2,767,445	事務事業評価	事業用地の円滑な取得を図るため県用地課と連携を強化し、交渉期間の短縮を図る。県の用地取得予算の確保が困難であり、事業間で調整することで予算執行できるようにする。	事業間の調整等について、県用地課と連携を強化して当初予算分の予算執行ができた。	平成21年度からの主要地方道豊橋遼美線の用地取得についての完了を目指すと共に、新たに始まっている都市計画道路田原中央線等の事業用地の円滑な取得を図る。また、県の用地取得予算の確保と事業間での調整がスムーズに執行できるようにする。	
	40102030		332,521	1 都市建設部 建設課				
	事業用地取得事務(国県道)		2,434,924	2 村上 知成				
			2,866,222	3 高い				
			220,092	4 高い				
5	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、地域からの要望をもとに、緊急性、事業効果等を考慮して必要性の高い生活道路から整備を行う。	116,575,700	事務事業評価	道路整備計画の実施により、地域からの多くの改良要望需要に対し適切な評価に基づいた計画的な対応が必要である。	下水道浄化センター建設に伴う周辺環境整備を推進。有効に財源を活用し、事業進捗を図った。また、緊急車両の円滑な通行や防災・減災など新たな社会事情を鑑み、生活道路の整備を行い、生活環境の改善を図った。	地域からの要望について、整備優先順位の評価基準に基づき優先度を検証し、計画性を高めた投資と効果の早期発現を目標に、予算規模と整合を図った計画立案を行う。	
	40103010		97,859,010	1 都市建設部 建設課				
	道路改良事業		187,379,069	3 極めて高い				
			127,202,358	4 極めて高い				
			20,176,711	5 普通				
6	交通基盤の整備	歩行者・自転車等利用者の安全確保、歩行者・自転車空間の快適性の向上及び円滑な自転車交通の確保を図るため、歩道設置等の交通安全施設整備を行う。	112,036,000	事務事業評価	平成24年度緊急合同点検対策の整備可能箇所への対応が完了。引き続き通学路交通安全推進協議会からの危険指摘箇所を優先的に検証し、安全対策を早期に確実に実施する必要があると認められる。また、自転車活用に関する法施行に伴い環境整備への対応要求度が高まっている。	学校統合再編に伴う周辺通学路整備を推進。また、田原市自転車活用推進計画(自転車ネットワーク計画を含む)を策定。計画に基づき交付金事業として事業展開を図った。	全国的に共通の課題となる事故対策について、率先して対応を検討するなど、通学路の安全確保に優先的に努める。自転車ネットワーク路線について、愛知県との連携を図り、国費補助等を活用して計画的に整備を推進する。	
	40103020		89,784,832	1 都市建設部 建設課				
	交通安全施設整備事業		22,251,168	2 村上 知成				
			182,614,355	3 極めて高い				
			171,612,833	4 極めて高い				
7	交通基盤の整備	災害時の避難及び救急活動に支障をきたす恐れのある道路について、建物の建設時にセットバックした部分を整備して狭い道路の解消を図る。	7,100,966	事務事業評価	平成25年度に要綱改正をしたことで、迅速な対応が可能となる事務体制となり、事務の効率性は向上した。今後、更なる申請件数の向上を図る。	本事業における補助制度を広く普及させ、事業の利用促進を図る。事務の簡素化により、申請者への迅速な対応が行えた。	本事業の利用促進を図るため、市民等に対して、制度案内資料等により周知を図る。	
	40103050		3,560,659	1 都市建設部 維持管理課				
	狭隘道路解消事業		3,540,307	2 小谷 生典				
			5,237,079	3 極めて高い				
			1,715,341	4 高い				
	3,521,738	5 普通						

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)	
	事務事業コード	事務事業の目的		1	2				
事務事業名			R2決算額(円)	3	4	5			
		内 直接事業費		3	4	5			
		内 人件費	3	4	5				
		内 人件費	3	4	5				
8	交通基盤の整備	公有地境界確認事務 公有地境界を整理することで行政の管理区域が明確となり、境界付近でのトラブルの解消を図る。	18,204,223	事務事業評価		公共用地と民地との境界を測量し、管理区域を明確化することにより、境界トラブルの解消を図ることを目的としているが、測量、登記等の事務に相応の時間を要するため、より効率的な事務対応が必要である。	愛知県公嘱協会への測量等委託を行うことにより、より効率的な事務対応ができ、一定の成果が出ている。	境界トラブルを未然に防ぐことはもとより、境界トラブルの解消について、より迅速に対応できるような事務体制を整える。	
	40104010		11,884,569	1	都市建設部 維持管理課				
			6,319,654	2	小谷 生典				
			7,069,348	3	高い				
			886,820	4	普通				
		6,182,528	5	普通		改善の効果	高い		
9	交通基盤の整備	道路法に基づき市道の管理を行い、道路の良好な環境と安全確保に努める。	65,898,085	事務事業評価		常時健全な道路環境を維持するため、老朽化している道路ストックの点検及び計画的な修繕の実施が必要である。	老朽化により修繕が必要な道路照明灯については、LED化し、電気料金の削減と環境負荷の低減に努めた。	道路ストックの総点検実施及び道路維持修繕計画策定により、要修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、健全な道路環境を維持する。道路照明灯のLED化により維持管理コストの軽減と環境負荷の低減に繋げる。	
	40104020		49,958,688	1	都市建設部 維持管理課				
	道路管理事務		15,939,397	2	小谷 生典				
			105,139,942	3	極めて高い				
			78,522,121	4	高い				
		26,617,821	5	普通		改善の効果	高い		
10	交通基盤の整備	公共用地の取得や売却等に伴う所有権移転登記等を行い適正な財産管理を図る。	11,118,586	事務事業評価		登記申請に際して、平日頃から法務局との連携を密にし、業務のスムーズな進捗に努めている。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような事業については、知識や技術もなくスムーズな対応ができないため委託対応が必要である。	法務局との連携を密にしたことにより登記官との円滑な関係を築くことができ、スムーズな登記申請や補正の対応ができた。	公共事業の進捗を図るための所有者不明土地に関する新たな制度改正などの研究、活用に努め、事業停滞路線の進捗を図る。また、新たに地震津波被災への備えとして想定地域での地籍調査を推進する。	
	40104030		47,190	1	都市建設部 建設課				
	登記事務		11,071,396	2	村上 知成				
			7,530,407	3	高い				
			28,294	4	普通				
		7,502,113	5	普通		改善の効果	普通		
11	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	141,109,481	事務事業評価		地域要望や道路/バロールにより確認された損傷箇所について計画的に補修を実施しているが、補修箇所が増加しているため、より迅速な補修対応を行う業務体制の向上が必要である。	地域要望や道路/バロールにより確認された損傷箇所について、道路交通の安全を確保するため迅速に修繕を実施した。	安全で快適な道路環境を実現するため、地域要望や道路/バロールから収集した修繕箇所の優先順位を検討した上で、計画的かつ迅速に修繕を実施する。	
	40104040		105,646,834	1	都市建設部 維持管理課				
	道路維持事業		35,462,647	2	小谷 生典				
			113,543,587	3	極めて高い				
			69,600,777	4	高い				
		43,942,810	5	普通		改善の効果	普通		
12	交通基盤の整備	道路等の修繕及び主要幹線道路の草刈等を実施し、交通の安全性及び快適性の向上を図る。	57,834,477	事務事業評価		危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と道路/バロールの効率化を図る必要がある。	市民及び各校区等からの要望や/バロールで発見した危険箇所について早期に対応し、交通の安全が図られた。また、これらの内容について課内で共有し、対策等の進捗状況について可視化できた。	収集した危険箇所情報や修繕要望等の内容について、必要性を精査した上で優先順位を検討し、安心で安全な道路使用のための施設改善を実施する。	
	40104060		46,892,954	1	渥美支所 地域課				
	道路維持事業(渥美支所)		10,941,523	2	鈴木 雅也				
			42,891,811	3	高い				
			28,234,359	4	高い				
		14,657,452	5	普通		改善の効果	普通		
13	交通基盤の整備	点検結果に基づき、補修が必要な橋梁等について、修繕計画に沿って修繕工事等を実施し、橋梁等の長寿命化を図る。	146,906,795	事務事業評価		橋梁定期点検を行い、修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の修繕を推進する。修繕対象橋梁に対して、計画的な修繕の実施が必要である。	国庫補助を利用して、歩道橋の修繕工事を実施、また橋梁個別施設維持管理計画を策定し、橋梁長寿命化を推進した。	橋梁定期点検を行うとともに、老朽化している橋梁等については、国庫補助を利用し、維持管理計画に基づいた修繕を計画的に実施して施設の長寿命化を図るとともに、将来の維持管理コストの削減に努める。	
	40104070		138,730,040	1	都市建設部 維持管理課				
	橋りょう等維持事業		8,176,755	2	小谷 生典				
			73,354,459	3	極めて高い				
			60,117,640	4	極めて高い				
		13,236,819	5	普通		改善の効果	高い		
14	交通基盤の整備	市営公共駐車場が便利かつ安全に利用できるように運営、維持管理する。	23,681,852	事務事業評価		・利用者の増加を図る取組が必要である。 ・駐輪場に長期の駐輪車両が出るようになった。 ・機器の老朽化等により、不具合が出るようになった。	・イベント等と連携した利用促進を行った。 ・駐輪場の長期の駐輪車両への対応を、指定管理者と連携して行った。 ・老朽化等により不具合が出た機器の修繕を行った。	・利用促進を継続して行う。 ・老朽化した機器について、順次交換をしていく必要がある。 ・照明のLED化を検討していく。	
	40106050		21,078,983	1	都市建設部 街づくり推進課				
	公共駐車場管理運営事業		2,602,869	2	大羽 剛				
			22,825,563	3	高い				
			21,320,564	4	高い				
		1,504,999	5	普通		改善の効果	普通		

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		1	2			
	事務事業名			R2決算額(円)	3	4		
		1		2	3	4		
15	公共交通の整備	都市機能として、集落部と市街地及び市街地内における市民等の移動手段を確保するため、路線バスの補完路線としてコミュニティバスを運行する。	62,864,665	事務事業評価		・路線ごとの運行状況を把握し、運行事業者や地域と連携して、コミュニティバスが安全に運行できる環境を維持する必要がある。 ・バス車両が老朽化しており、更新が必要となっている。	・運行事業者ヒアリングや地域コミュニティ協議会へのヒアリング等を行い、コミュニティバスが安全に運行できる環境を維持・改善した。	・地域コミュニティ協議会へのヒアリング等を行い、利用者の利便性を高める。 ・老朽化しているバス車両について、順次更新をしている。
	40201010		58,977,376	1	都市建設部 街づくり推進課			
			3,887,289	2	大羽 剛			
	コミュニティバス運行事業		110,224,827	3	極めて高い			
			106,895,538	4	高い			
		3,329,289	5	普通				
16	公共交通の整備	市民等の移動手段を確保するため、市内公共交通の基幹路線である路線バス(伊良湖本線・支線)の運行を支援する。	51,171,689	事務事業評価		・路線バスの運行を支援するため、補助金を交付している。 ・路線バスの利用促進を図る必要がある。 ・伊良湖本線の路線について、地域(亀山)からの要望によるルート変更及び新規バス停を設置できるよう調整する必要がある。	・路線バスを身近に感じてもらう利用につなげていくため、小学生バス乗り方教室を開催した。 ・伊良湖本線の路線について調整を行い、ルート変更及び亀山地区の新たなバス停の設置につなげた。	・路線や運行管理についての見直しを、必要に応じて支援していく。 ・利用者増につなげる講座を地域等と連携し開催する。
	40201020		50,009,600	1	都市建設部 街づくり推進課			
	地方バス路線支援事業		1,162,089	2	大羽 剛			
			58,193,231	3	極めて高い			
			57,000,000	4	高い			
		1,193,231	5	普通				
17	公共交通の整備	だれもが安心して移動できるまちを実現するため、関係者との連携により、市内公共交通の充実を図る。	65,196,858	事務事業評価		・新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した利用者について、利用促進を図る必要がある。	・商工事業者と連携した新たな利用促進策「ぐるりん de GO!」や、ぐるりんバスペーパークラフトを作成し利用促進を図った。 ・中学生や高校生に向けたパンフレットや高齢者に向けたパンフレット等を作成・配布し、利用促進を図った。	・公共交通事業者等と連携した利用促進策等を企画・立案・実施し、公共交通の維持を図る。
	40201030		59,483,347	1	都市建設部 街づくり推進課			
	公共交通推進事業		5,713,511	2	大羽 剛			
			20,259,413	3	極めて高い			
			14,729,722	4	高い			
		5,529,691	5	普通				
18	港湾・河川・海岸の整備	馬草港、泉港、浦南河岸小型船舶施設の維持管理を適正に行う。また、県管理施設である樋門の操作業務を地元自治会へ委託し、津波や高潮などに対する安全確保に努める。	33,171,853	事務事業評価		良好な港湾施設の維持管理のため、港湾維持修繕計画に基づく修繕等を確実に実施する必要がある。また、災害時により迅速に樋門操作を行うための体制強化が必要となる。	指定管理による円滑な維持管理を実施した。また、樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制を構築し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	老朽化の進む港湾施設について、港湾維持修繕計画に基づいた修繕等を継続していくとともに、指定管理者制度を活用した維持管理を継続していく。 樋門操作について、職員と受託者の連携をさらに強化し、より迅速な対応を図る。
	40301040		27,565,350	1	都市建設部 維持管理課			
	港湾管理事業		5,606,503	2	小谷 生典			
			12,225,007	3	高い			
			5,417,454	4	高い			
		6,807,553	5	普通				
19	港湾・河川・海岸の整備	排水能力不足による水害の発生を防ぐため、住民の生命・財産を守るうえで重要な河川を優先して整備する。	31,605,824	事務事業評価		約半数の準用河川は断面容量不足であり、近年のゲリラ豪雨や大型台風による被害発生など整備の必要性は非常に高くなっている。	地域の水害発生状況及び準用河川台帳の整理による改修必要性から整備優先度の確認及び検討を推進。 水害防止対策として普通河川11河川の改修を継続。新たに創設の地方債制度を適用し集中投資による事業進捗を図った。	主要地方道との交差河川について愛知県整備に連動して整備を進めるとともに、治水・防災対策としての河川改良を計画し事業推進する。なお、河川・水路整備方針の確立を早急に進め計画的な整備に取り組む。
	40302010		24,130,500	1	都市建設部 建設課			
	河川改良事業		7,475,324	2	村上 知成			
			25,577,690	3	極めて高い			
			22,997,700	4	高い			
		2,579,990	5	普通				
20	港湾・河川・海岸の整備	大雨等による災害を未然に防ぐため、土水路及び断面不足の水路を新設及び改良することにより、排水機能の向上を図る。	69,749,103	事務事業評価		地域の要望を基に現場の状況を確認し的確な対策を講じる必要がある。	小規模施設整備を推進し1水路において排水機能の改善に努めた。	台風などによる過去の被害箇所や地域からの要望を検証し、緊急度及び必要性の高い水害防止対策を推進する。なお、用地取得の同意が得られず停滞する水路整備については、粘り強く事業推進する。
	40302020		63,011,520	1	都市建設部 建設課			
	水路改良事業		6,737,583	2	村上 知成			
			55,052,435	3	極めて高い			
			52,646,000	4	高い			
		2,406,435	5	普通				
21	港湾・河川・海岸の整備	洪水、高潮等による水害を防止するとともに、河川の流水機能の維持と河川環境の保全のために総合的な管理を行う。	2,089,698	事務事業評価		災害時により迅速に樋門操作を行うための体制の強化が必要である。	樋門操作マニュアルを活用し適正な管理体制を継続するとともに、災害時に迅速な樋門操作が可能な体制の強化を図った。	樋門操作について、職員と受託者の連携をさらに強化し、より迅速な対応を図る。
	40303010		1,107,195	1	都市建設部 維持管理課			
	河川管理事務		982,503	2	小谷 生典			
			5,679,833	3	高い			
			1,451,730	4	高い			
		4,228,103	5	普通				

No	施策名	事務事業の目的	R1決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
	事務事業名		R2決算額(円)	事務事業評価									
			内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
			内 人件費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
22	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	25,481,726	事務事業評価					市の管理河川・水路等の修繕、浚渫、草刈を行うことにより、災害を未然に防ぎ、河川環境の保全に努めているが、補修等が増加しているため、より迅速な補修対応を行う業務体制の向上が必要である。	地域からの要望箇所について迅速な補修等を実施したことにより、河川等の排水機能の回復を図った。	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)		
	40303020		20,804,600	1 都市建設部 維持管理課	1 担部 生典	3 高い	4 高い	5 普通				改善の効果	普通
	河川維持事業		4,677,126	2 小谷 生典	2 鈴木 雅也	3 高い	4 高い	5 普通					
			24,740,866	3 高い	4 高い	5 普通							
			20,189,106	4 高い									
4,551,760		5 普通											
23	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川、水路の護岸等の修繕や堆積した土砂の浚渫、草刈等を行い、災害の未然防止及び河川環境の保全を図る。	20,227,793	事務事業評価					危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と河川パトロールの効率化を図る必要がある。	市民及び各校区等からの要望やパトロールで発見した危険箇所について早期に対応し、河川環境の保全が図られた。また、これらの内容について課内で共有し、対策等の進捗状況について可視化できた。	収集した危険箇所情報や修繕要望等の内容について、必要性を精査した上で優先順位を検討し、災害を未然に防止し、河川環境の保全を図るための施設改善を実施する。		
	40303040		17,039,514	1 渥美支所 地域課	2 鈴木 雅也	3 高い	4 高い	5 普通				改善の効果	普通
	河川維持事業(渥美支所)		3,188,279	2 鈴木 雅也	3 高い	4 高い	5 普通						
			18,347,680	3 高い	4 高い	5 普通							
			12,911,704	4 高い									
5,435,976		5 普通											
24	港湾・河川・海岸の整備	津波、大潮、波浪などからの被害を防ぐとともに、海岸環境の保全に努め、海岸の適正な利用が行われるよう総合的な管理を行う。	7,397,841	事務事業評価					災害時により迅速に樋門操作を行うための体制の強化が必要である。	樋門操作マニュアルを活用し適正な管理体制を継続するとともに、災害時に迅速な樋門操作が可能な体制の強化を図った。	樋門操作について、職員と受託者の連携をさらに強化し、より迅速な対応を図る。		
	40304010		4,530,966	1 都市建設部 維持管理課	2 小谷 生典	3 高い	4 高い	5 普通				改善の効果	高い
	海岸管理事業		2,866,875	2 小谷 生典	3 高い	4 高い	5 普通						
			12,633,836	3 高い	4 高い	5 普通							
			7,069,738	4 高い									
5,564,098		5 普通											
25	市街地の整備	うるおいと活力のあるガーデンシティを実現するため、都市計画法に基づき、まちづくりに関する各種調査や企画、調整及び決定手続きを行う。	13,555,463	事務事業評価					改定版田原市都市計画マスタープランに挙げられた事業について、検討を継続的に行う必要がある。	・都市計画関係(立地適正化計画区域、観光開発計画区域)のGISデータの整備を行い事務効率化を図った。	・サーフタウン構想に位置づけられた住宅開発にかかる市街地調整区域内地区計画の内容について検討を行う。 ・新規市街地拡大候補地(田原太白地区、古田地区)の土地利用について検討を行う。		
	40401010		4,678,052	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛	3 極めて高い	4 高い	5 普通				改善の効果	高い
	都市計画推進事業		8,877,411	2 大羽 剛	3 極めて高い	4 高い	5 普通						
			10,575,512	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			2,835,815	4 高い									
7,739,697		5 普通											
26	市街地の整備	田原市の顔である田原地区中心市街地の魅力を高め、活性化を推進するため、市街地の整備・改善に関する事業等の検討を行うとともに、地域のまちづくりを担う人材等の育成に努める。	92,706,761	事務事業評価					田原市中心市街地活性化基本計画に基づき、平成28年度から5か年計画で市街地整備等事業に取り組んだ。	・都市再生整備計画事業の活用により、歴史ウォーキングレイルの案内板やサインを設置した。	・都市再生整備計画事業の効果検証を行い、フォローアップについて検討し、地域と協働しながら必要に応じて活性化に寄与する事業の推進を図る。		
	40402010		80,044,909	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛	3 高い	4 高い	5 普通				改善の効果	高い
	田原地区まちづくり事業		12,661,852	2 大羽 剛	3 高い	4 高い	5 普通						
			30,738,342	3 高い	4 高い	5 普通							
			19,116,732	4 高い									
11,621,610		5 普通											
27	市街地の整備	田原市のサブ拠点として位置づけられている赤羽根地区の市街地において、住民主体のまちづくり活動の支援や、地域のまちづくりを担う人材等の育成に努める。	11,756,383	事務事業評価					赤羽根地区まちづくりビジョンの実現に向けて、赤羽根地区まちづくり推進委員会が主体となってまちづくり活動を進めている。 ・まちづくり活動を発展させるため、活動を担う人材の発掘、育成への支援が必要である。	赤羽根地区まちづくり推進委員会の活動について、下部組織となる赤羽根まちづくり隊を新たに立ち上げたことで活動が活発化し、新たな人材の発掘、育成につなげることができた。	赤羽根地区まちづくりビジョンの実現に向け、まちづくり活動を担う人材の発掘、育成への支援を継続する。		
	40402020		4,094,230	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛	3 高い	4 高い	5 普通				改善の効果	高い
	赤羽根地区まちづくり事業		7,662,153	2 大羽 剛	3 高い	4 高い	5 普通						
			3,374,955	3 高い	4 高い	5 普通							
			435,953	4 高い									
2,939,002		5 普通											
28	市街地の整備	田原市の準都市拠点として位置づけられている福江地区の市街地において、地域の生活を支える拠点機能の維持及び住民主体のまちづくり活動の支援や、地域のまちづくりを担う人材等の育成に努める。	13,230,734	事務事業評価					・ショップレイ周辺整備構想案作成のため、福江市街地活性化委員会及び作業部会を支援した。 ・清田・福江校区まちづくり推進協議会の福江つるし飾りロード事業への活動支援を行った。	・ショップレイ周辺整備構想案を踏まえ、整備事業計画案の取りまとめを行うため、福江市街地活性化委員会への支援を継続する。 ・福江地区まちづくりビジョンの実現に向け、まちづくり活動を担う人材の発掘、育成への支援を継続する。			
	40402030		6,719,625	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛	3 高い	4 高い	5 普通			改善の効果	高い	
	福江地区まちづくり事業		6,511,109	2 大羽 剛	3 高い	4 高い	5 普通						
			15,303,376	3 高い	4 高い	5 普通							
			6,987,000	4 高い									
8,316,376		5 普通											

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード	事務事業の目的		1 担当部課名	2 評価責任者氏名					
事務事業名		事務事業の目的	R2決算額(円)	3 妥当性評価	4 有効性評価					
					5 効率性評価					
29	市街地の整備	赤羽根町区内で進められている田原赤羽根土地区画整理事業について、市民協働によるまちづくりの理念の下、施行者の田原赤羽根土地区画整理組合に対し、運営指導、事業支援を行うとともに、関連道路・河川・調整池・地区内公園等の整備を行う。	83,753,990	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年に組合が認可・設立された田原赤羽根土地区画整理組合の支援や関連事業として市が行う赤羽根地区都市再生整備計画事業の内容を着実に実施する必要がある。 ・保留地の販売促進を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理組合への助成金の交付や組合の運営支援、また都市再生整備計画に基づく道路改良工事や防火水槽の設置工事を実施し、事業全体の進捗が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き組合役員や地域とともに積極的に保留地の販売活動を行っていく。 ・地域と連携しワークショップを行い公園の整備を図る。 		
	40403010		64,117,800	1 都市建設部 街づくり推進課	1 担当部課名				改善の効果	高い
			19,636,190	2 大羽 剛	2 評価責任者氏名					
			279,725,776	3 高い	3 妥当性評価					
			265,274,334	4 高い	4 有効性評価					
	14,451,442	5 普通	5 効率性評価							
30	市街地の整備	市民協働による市街化区域の都市基盤の形成を行うにあたり、総合的かつ面的に整備する手法である土地区画整理事業を促進するため、田原市組合施行土地区画整理事業助成方針に基づき、現在施行中の浦片地区の健全な組合運営、計画中の地区の組合設立準備に対し支援を行う。	10,306,914	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・浦片地区の保留地は、住宅用地は平成27年度に売却し、企業用地は11区画中残り6区画となっている。組合の解散に向けて企業用地の販売が課題である。 ・田原天白地区での土地区画整理事業推進のため、事業候補地の検討を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地推進室が行う企業誘致活動で企業用地のPR活動や組合役員との不動産業者訪問等の営業活動を行った結果、1区画の販売に繋がった。 ・田原天白地区について庁内検討を行い、整備の方向性について検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浦片地区は、引き続き情報の収集・発信を行い、企業立地担当及び組合役員とともに積極的に企業誘致活動を行っていく。 ・田原天白地区での土地区画整理事業は、事業候補地を精査し、庁内や地元との調整を行っていく。 		
	40403030		3,857,671	1 都市建設部 街づくり推進課	1 担当部課名				改善の効果	高い
			6,449,243	2 大羽 剛	2 評価責任者氏名					
			5,192,800	3 高い	3 妥当性評価					
			671,597	4 高い	4 有効性評価					
	4,521,203	5 普通	5 効率性評価							
31	地域・住環境の整備	農村の総合的な振興を図るため、農業生産基盤の整備を行う。また、これと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施し、活力と個性のある地域づくりを目指すため、道路、排水路、防災施設及び自然環境、生態系保全施設整備等を行う。	74,155,700	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・整備対象地区の農業生活基盤を総合的に整備し、農業者及び農村居住者が住みよい居住環境への改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大草・高松地区、東部地区において、農道、集落道、農業排水路、防火施設の整備工事を実施し、地域住民の安心安全、快適な生活環境を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地耕作条件改善事業交付金及び農山漁村地域整備交付金の活用により、農村振興総合整備事業の推進を図る。 		
	40501010		52,566,882	1 産業振興部 農政課	1 担当部課名				改善の効果	高い
			21,588,818	2 河邊 俊和	2 評価責任者氏名					
			66,473,178	3 普通	3 妥当性評価					
			50,537,002	4 普通	4 有効性評価					
	15,936,176	5 普通	5 効率性評価							
32	地域・住環境の整備	田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の事業運営を支援し、海岸侵食対策、自然環境の保全と活用、農地の基盤整備、農村環境の改善などについて関係地域の総合的な課題解決を図る。	4,771,667	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・表浜フェスティバルはコロナの影響で、各海岸の清掃活動を主として実施した。 ・より効果の高い要望活動とするため、田原市西部表浜地域環境整備協議会と連携した要望活動を実施した。 ・地元からの発案と協働で、マナー啓発看板を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表浜フェスティバルはコロナの影響で、各海岸の清掃活動を主として実施した。 ・より効果の高い要望活動とするため、田原市西部表浜地域環境整備協議会と連携した要望活動を実施した。 ・地元からの発案と協働で、マナー啓発看板を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表浜自然ふれあいフェスティバルを含め、市民へ一層効果のある啓発方法について検討する。 ・アクションプランに沿って、東部太平洋岸地域のつながりを深め、協議会と行政が一体となり継続して県への要望活動を行い海岸環境の整備促進を図る。 		
	40502010		400,000	1 企画部 企画課	1 担当部課名				改善の効果	普通
			4,371,667	2 松井 茂明	2 評価責任者氏名					
			3,649,877	3 高い	3 妥当性評価					
			400,000	4 高い	4 有効性評価					
	3,249,877	5 普通	5 効率性評価							
33	地域・住環境の整備	少子高齢化・人口減少社会に対応した居住環境の整備を図るため、公的宅地の供給を行うことにより市内への定住を誘導し、安全で住みやすいまちづくりを推進する。まち・ひと・しごと創生推進事業の定住・移住促進奨励金が移管された。	13,880,755	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・シースイド田原光崎分譲地の販売促進のため宣伝をしている。年度末での管理区画は11区画となっており、除草等土地の管理に費用がかかっている。定住移住促進奨励金制度は6年目となる。今後も人口減少に対応した施策が必要となる。 ・サーフタウン構想の住宅開発事業についても事業化の検討調査をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分譲地については、広報たはら、新聞折込広告、シーズの広告等を利用して宣伝した。委託だけに頼らず、直接職員が除草等管理を行うことで費用を軽減した。 ・定住移住促進奨励金制度については、広報たはら、ハウジングセンターへのチラシ配布等で周知することにより、136件の実績があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地の効果的な宣伝方法の検討を行い、分譲促進に努める。 ・田原市定住・移住促進奨励金制度を継続し、より効果的に若者・子育て世代の移住者の増加を目指す。サーフタウン構想住宅開発事業について、地元の協力を得ながら実現に向けて進める。 		
	40503010		775,476	1 都市建設部 建築課	1 担当部課名				改善の効果	普通
			13,105,279	2 平井 堅一郎	2 評価責任者氏名					
			57,849,219	3 高い	3 妥当性評価					
			41,529,685	4 高い	4 有効性評価					
	16,319,534	5 普通	5 効率性評価							
34	地域・住環境の整備	住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な市営住宅を供給することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。特定公共賃貸住宅、若者向け住宅等良質な賃貸住宅を求め中堅所得者層に住宅の供給を図り、市民生活の向上を図る。現に市営住宅に入居している市民の居住の安定と居住水準の向上を図る。	146,801,832	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・田原市公営住宅等長寿命化計画に沿って、既存公営住宅等の改修を計画的に実施しているが、老朽化により住宅設備等の細かい修繕が多発している。 ・家賃滞納については、常習者の期限内納付意識が低いいため、滞納額を増やさないことが課題となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存市営住宅の改修等、計画的な修繕を実施した。また高木住宅及び木造宮ノ前住宅を解体し、跡地処分に向けた整備を図った。家賃滞納者には、督促状通知、訪問、電話、文書による催告等を実施し、滞納改善指導に努め、債権回収を弁護士へ委託した結果、滞納額を減少させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂した長寿命化計画に基づき施設の計画的な管理、改修を行うと共に、設備等の修繕を計画的に行う。 ・家賃滞納者に対しては、債権管理条例等に基づき適切な対応を実施するとともに債権回収専門の弁護士に委託して収納率の向上や公平性の確保を図る。 		
	40503020		118,942,415	1 都市建設部 建築課	1 担当部課名				改善の効果	高い
			27,859,417	2 平井 堅一郎	2 評価責任者氏名					
			164,603,411	3 極めて高い	3 妥当性評価					
			133,711,255	4 高い	4 有効性評価					
	30,892,156	5 高い	5 効率性評価							
35	地域・住環境の整備	空家等対策の推進に関する特別措置法、田原市空家等の適正管理に関する条例、田原市空家等対策計画に基づき、空家関連施策を推進することにより、市民の良好な生活環境の確保、定住人口の誘導を行う。	22,636,248	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の実態調査により491件の空家家を把握しているが、今後も急速に増加するものと予測される。危険空家、老朽空家等の解体のほか、空家等の有効活用を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空家解体補助制度を拡充し、危険空家以外に老朽空家(旧耐震基準の空家)も補助対象とし、空家の解消と跡地の有効活用を図った。解体補助33件。(危険空家24件、老朽空家9件)。また、空家活用のため、片付け費補助、手続費補助を新設した。(片付け費1件、手続費5件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・解体補助制度を継続し、安全性の低い空家の解消と跡地の有効活用を図る。また、活用補助や宅建協会との連携により空家バンク登録物件数を増加させ、住宅ストックとして空家の有効活用を図る。市民に空家を発生させない意識を高めてもらえるように、情報発信や出前講座等の啓発活動を行う。 		
	40503060		11,509,455	1 都市建設部 建築課	1 担当部課名				改善の効果	高い
			11,126,793	2 平井 堅一郎	2 評価責任者氏名					
			27,296,377	3 極めて高い	3 妥当性評価					
			14,539,624	4 高い	4 有効性評価					
	12,756,753	5 普通	5 効率性評価							

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)		
	事務事業コード	事務事業の目的		1	2					
事務事業名			R2決算額(円)	3	4	5				
		内 直接事業費	1	担当部課名						
		内 人件費	2	評価責任者氏名						
		内 直接事業費	3	妥当性評価						
		内 人件費	4	有効性評価						
			5	効率性評価						
36	地域・住環境の整備	田原市人ややさしい街づくり推進計画に沿い、高齢者及び障害者を含む全ての人にやさしい、バリアフリーの街づくりを推進することにより、高齢化社会の安心・安全なまちづくりを目指す。	28,710,622	事務事業評価		公共建築物や道路等の改善等の事業を行った。公共建築物のバリアフリー化は、概ね整備されている。ライフスタイルの変化や少子・高齢化のさらなる進展など、市民のニーズに変化に適宜対応できる仕組みが必要である。	中心市街地に、視覚障害者誘導表示を前年度に設置した神戸蔵王線の場所から田原高松線の庁舎南側までの417mの設置及び萱町吉胡線の既設表示の補修を行った。令和2年度までの中心市街地活性化基本計画のバリアフリー化推進事業はこれをもって完了した。	バリアフリー化に関する事業はソフト事業やハード事業と多岐にわたるため、各部局の施策や計画等に合わせ、協力して事業の推進を図る。		
	40504010		24,949,837	1	都市建設部 建築課					
	3,760,785		2	平井 堅一郎						
	14,510,713		3	高い						
	10,998,900		4	普通						
3,511,813	5	普通								
						改善の効果	普通			
37	上下水道の整備	給水装置の新設及び改良に伴う配水管の新設及び改良工事の施工に対し、材料を支給することにより水道施設の充実を図る。	12,525,072	事務事業評価		水道新規加入等に伴い、配水管工事を必要とする場合には、本管材料を支給し、水道施設の適正な整備を図る。	・水道施設の充実を図るため水道新規加入者等が行う配水管工事に対し材料支給を実施した。 ・材料支給の有無に関わらず、基準を満たすよう設計審査、竣工検査を実施した。	水道施設の適正な整備のため、今後も本管材料の支給を行う。		
	40601010		2,718,488	1	上下水道部 水道課					
	9,806,584		2	伊與田 広美						
	12,846,801		3	高い						
	1,572,409		4	高い						
11,274,392	5	普通								
						改善の効果	普通			
38	上下水道の整備	水道施設の維持、管理により安心、安全な水道水を安定的に供給する。	724,714,681	事務事業評価		・水道施設の保守点検管理、水質検査を実施して、安全な水の安定供給を行う。 ・施設管理等の効率化を図るとともに、漏水に対して早期発見、修繕を行い有収率の向上を図る。	・水道施設の保守点検管理、水質検査を実施した。 ・配水管等の漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を実施した。	施設管理等の一部業務委託を行うとともに、老朽管の改修・漏水調査の実施・漏水管の早期改修を実施し、有収率向上に向けた事業に引き続き取り組んでいく。		
	40601020		709,036,976	1	上下水道部 水道課					
	15,677,705		2	伊與田 広美						
	699,405,749		3	極めて高い						
	684,273,679		4	高い						
15,132,070	5	高い								
						改善の効果	高い			
39	上下水道の整備	公共的団体が行う新設の配水管整備において、負担金を受けて市が施工することによって、施設の信頼性を高め適正管理につなげる。	1,020,467	事務事業評価		臨海企業団地や宅地造成事業区域等での配水管整備を図るとともに、計画に対する連絡調整を行う。	・赤羽根地区土地区画整理区域における配水管整備を実施した。 ・次年度以降の施工箇所について、関係機関との連絡調整を実施した。	新規事業等に対して関係機関との連絡調整等を引き続き行う。		
	40601030		0	1	上下水道部 水道課					
	1,020,467		2	伊與田 広美						
	34,873,543		3	高い						
	32,347,700		4	高い						
2,525,843	5	普通								
						改善の効果	普通			
40	上下水道の整備	安心、安全な水道水を安定的に供給するため、老朽管等の更新を図る。	952,667,833	事務事業評価		水道事業基本計画に従い基幹管路の耐震化及び施設、老朽管の更新を図る。	水道事業基本計画に従い基幹管路の耐震化及び老朽管の更新を実施した。	引き続き工事の効率化やコストの削減を図るとともに、水道事業基本計画を基に、施設の耐震化・更新・改良・統廃合等を進め、更新管路についても耐震化、ダウンサイジングを図りつつ、地区及び市全域での管路の整備を進める。		
	40601040		937,711,397	1	上下水道部 水道課					
	14,956,436		2	伊與田 広美						
	950,846,544		3	極めて高い						
	937,439,276		4	高い						
13,407,268	5	普通								
						改善の効果	高い			
41	上下水道の整備	緊急水源井戸の保守点検及び水質検査等施設の維持管理を行い異常湧水時の飲料水確保及び地震等災害時の家庭用雑用水確保を図る。	6,876,088	事務事業評価		・非常時における飲料水等確保のため、緊急水源の維持管理を行う。 ・湧水時等における速やかな緊急対応の実施を図る。	適正な維持管理を行うとともに、湧水時において緊急水源として活用できるように施設の整備点検等を行った。	引き続き適正な維持管理を実施していく。		
	40601060		4,631,061	1	上下水道部 水道課					
	2,245,027		2	伊與田 広美						
	4,303,796		3	高い						
	1,148,616		4	高い						
3,155,180	5	普通								
						改善の効果	普通			
42	上下水道の整備	地震等による災害時の家庭用雑用水確保のため、新たに緊急水源井戸を整備する。	5,348,000	事務事業評価		地震等による災害時の家庭用雑用水確保のため、緊急水源井戸を田原町地内で1基整備する。	緊急水源井戸1基の整備を行った。	令和3年度以降の整備計画なし		
	40601070		4,633,673	1	上下水道部 水道課					
	714,327		2	伊與田 広美						
	3,866,949		3	高い						
	3,344,000		4	普通						
522,949	5	普通								
						改善の効果	普通			

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		1	2			
事務事業名			R2決算額(円)	3	4	5		
		内 直接事業費		1	担当部課名			
		内 人件費	2	評価責任者氏名				
		内 直接事業費	3	妥当性評価				
		内 人件費	4	有効性評価				
			5	効率性評価				
43	上下水道の整備	事業運営に必要な費用を水道利用者から徴収し、水道事業の安定経営を図る。	72,604,746	事務事業評価		給水人口や使用量の減少、老朽化した設備更新など事業運営が厳しくなる中、収納率の向上及び業務の効率化を図る。	給水停止の早期適用を継続して行うことで滞納者の常習化を防ぎ、業務の効率化及び収納率の向上を図った。	業務の広域連携等を検討するなど業務の効率化に取り組む。
	40602010		34,921,508	1	上下水道部 水道課			
	水道経営事務		37,683,238	2	伊與田 広美			
			66,858,653	3	高い			
			30,870,630	4	高い			
35,988,023	5	高い						
						改善の効果	普通	
44	上下水道の整備	安定した水道水確保のため、水道料金の一部を活用して水源林の保全を図る。	7,309,415	事務事業評価		水源林の必要性について啓発、森林づくり、間伐事業の推進を図る。	森林づくり事業、間伐事業を実施する豊川水源基金に負担金を拠出し、良好な水源林の確保を図った。	負担金を拠出し、良好な水源林の確保を図る
	40602020		7,309,415	1	上下水道部 水道課			
	水源林保全流域協働事業		0	2	伊與田 広美			
			7,120,119	3	極めて高い			
			7,110,875	4	高い			
9,244	5	高い						
						改善の効果	普通	
45	上下水道の整備	市街地等の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、下水道施設整備区域の拡大等を図る。	221,930,692	事務事業評価		・ストックマネジメント計画(施設の老朽化対策)に基づき、管路及びポンプ場等の改築・更新が必要である。 ・下水道施設の地震対策(耐震、津波対策)が必要である。	・田原浄化センターの更新(長寿命化)及び地震対策(耐震化)工事委託を行った。 ・新規加入者の申請に基づき公共ますを設置した。 ・赤羽根土地区画整理事業区域の管路布設工事を実施した。	・老朽化に伴う処理場及び管渠の更新(長寿命化)、また、地震対策(耐震化)及び津波対策を図る必要がある。 ・新規加入者に対しての公共ます設置
	40603030		213,958,148	1	上下水道部 下水道課			
	汚水処理施設整備事業		7,972,544	2	川口 容央			
			1,159,287,844	3	極めて高い			
			1,149,942,884	4	高い			
9,344,960	5	高い						
						改善の効果	高い	
46	上下水道の整備	市街地の雨水を排除し浸水被害の防止を図るため、雨水ポンプ場、雨水幹線、雨水貯留施設等の雨水施設の整備を行う。	285,818,101	事務事業評価		・ストックマネジメント計画(施設の老朽化対策)に基づき、ポンプ場の改築・更新が必要である。 ・施設の地震対策(耐震化)が必要である。	・東大浜ポンプ場施設の老朽化対策として、更新(長寿命化)及び耐震化対策として、地震対策(耐震化)工事委託を行った。	・施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画によるポンプ場の改築・更新及び地震対策(耐震化)が必要となる。
	40603080		282,893,200	1	上下水道部 下水道課			
	雨水排水施設整備事業		2,924,901	2	川口 容央			
			552,522,866	3	極めて高い			
			547,960,525	4	高い			
4,562,341	5	高い						
						改善の効果	高い	
47	上下水道の整備	公共下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	30,127,591	事務事業評価		負担金、分担金及び使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。 また、人口減や施設の更新時期到来等に対応するため、下水道事業における経営状況を把握し安定的な運営を確保する必要がある。	将来にわたり安定した事業運営を確保するため、中長期的な経営の基本計画となる田原市下水道事業経営戦略を策定し、経営状況の把握を行った。 また、地方公営企業法の適用により企業会計による経理を適正に行った。	経営戦略において掲げた取り組みを遂行するため、進捗管理と検証を行いながら経営の健全化に努める。 引き続き接続推進を図る。
	40604040		12,987,254	1	上下水道部 下水道課			
	公共下水道運営事業		17,140,337	2	川口 容央			
			101,180,407	3	高い			
			80,753,741	4	高い			
20,426,666	5	普通						
						改善の効果	高い	
48	上下水道の整備	雨水の適正な排除を行うため、雨水ポンプ場及び雨水排水路等の維持管理を行う。	26,424,415	事務事業評価		・老朽化に伴う施設の修繕及び改良が必要である。 ・計画的な改良を実施し、機器の延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 ・降雨時の速やかな対応が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。	・老朽化が進む中、計画的な施設修繕が必要である。 また、機器の延命化を図り、施設の機能を維持し、適正な管理に努める。 ・機器の故障等による浸水被害を未然に防ぐ。
	40604060		20,835,362	1	上下水道部 下水道課			
	雨水排水施設維持管理事業		5,589,053	2	川口 容央			
			23,711,869	3	高い			
			20,085,701	4	高い			
3,626,168	5	高い						
						改善の効果	高い	
49	上下水道の整備	生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行う。	279,982,199	事務事業評価		恒久的、持続的に維持管理していく上で、事業目的を達成するには、多大な経費が必要であり、施設の劣化は年々進むため、維持管理・修繕にも経費がかかる。	・設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。 ・包括的民間委託により、適切に管理できた。	包括的民間委託を引き続き活用し、受注者を適切に管理し、より適正な維持管理ができるように努める。
	40604070		273,061,548	1	上下水道部 下水道課			
	汚水処理施設維持管理事業		6,920,651	2	川口 容央			
			289,259,972	3	高い			
			279,554,261	4	高い			
9,705,711	5	高い						
						改善の効果	高い	

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード	事務事業の目的		1	2					
事務事業名			R2決算額(円)	3	4	5				
		内 直接事業費		妥当性評価	有効性評価	効率性評価				
		内 人件費								
50	上下水道の整備	農村地域の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、市内農村地域の生活排水整備を計画的に行う。	152,976,953	事務事業評価		・処理場の設備機器が老朽化しているため、順次機能強化事業により施設の更新を実施する必要がある。 ・新規加入者に対するの公共ます設置	・6連汚水処理場の機能強化事業により施設の更新を行った。 ・県補助事業により向新集落排水処理場及び岬中部集落排水処理場のフェンス取替工事を行った。 ・新規加入者の申請に基づき公共ますを設置した。	・処理場の設備機器が老朽化しているため、順次機能強化事業により施設の更新を実施する。 ・新規加入者に対するの公共ます設置		
	40605030		145,345,492	1	上下水道部 下水道課					
	農業集落排水施設整備事業		7,631,461	2	川口 容央					
			824,161,257	3	極めて高い					
			815,327,088	4	高い					
8,834,169	5	高い								
						改善の効果	高い			
51	上下水道の整備	事業経営の安定化に向け、農業集落排水の接続を推進すること等により財源の確保を図り、農業集落排水事業の適正かつ健全な管理運営を行う。	23,653,682	事務事業評価		分担金及び使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。 また、人口減や施設の更新時期到来等に対応するため、下水道事業における経営状況を把握し安定的な運営を確保する必要がある。	将来にわたり安定した事業運営を確保するため、中長期的な経営の基本計画となる田原市下水道事業経営戦略を策定し、経営状況の把握を行った。 また、地方公営企業法の適用により企業会計による経理を適正に行った。	経営戦略において掲げた取り組みを遂行するため、進捗管理と検証を行いながら経営の健全化に努める。 引き続き接続推進を図る。		
	40606030		9,372,851	1	上下水道部 下水道課					
	農業集落排水運営事業		14,280,831	2	川口 容央					
			34,803,681	3	高い					
			18,533,787	4	高い					
16,269,894	5	普通								
						改善の効果	高い			
52	上下水道の整備	農業集落における生活環境の向上や農地及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適正な維持管理を行う。	259,350,966	事務事業評価		施設及び機器の老朽化が進んでいるため、計画的な改良により延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。	施設維持管理については専門業者に委託し、適切に管理した。	不具合箇所リストなどを完備し、処理施設の計画的な維持修繕工事を行い、施設機能の延命化を図る。		
	40606040		245,951,114	1	上下水道部 下水道課					
	農業集落排水施設維持管理事業		13,399,852	2	川口 容央					
			273,798,637	3	高い					
			258,234,467	4	高い					
15,564,170	5	高い								
						改善の効果	高い			
53	上下水道の整備	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、便槽式トイレ及び仮設トイレの生し尿を収集する。し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行うとともに施設の安全かつ適正な維持管理に努める。	50,755,980	事務事業評価		・し尿収集業務は市民生活に不可欠であるため、引き続き円滑に実施していく。 ・施設の老朽化や、し尿等の処理量の減少により安定的な処理が難しい状態となっている。	未水洗化世帯の減少により収集世帯等が点在しているが、収集作業を集約し効率化に努めた。また、処理機械・設備等の修繕や部品交換等を行い、安定的な処理を行った。	・収集世帯の減少と農業等の仮設トイレの増加により点在化が進むことが予想されるが、収集業務の集約化に努める。 ・共同処理開始に伴う業務体制の構築及び、し尿処理施設の廃止を行う。		
	40607010		24,996,809	1	上下水道部 下水道課					
	し尿収集処理運営事業		25,759,171	2	川口 容央					
			47,646,179	3	高い					
			16,557,034	4	高い					
31,089,145	5	高い								
						改善の効果	高い			
54	上下水道の整備	し尿処理施設は昭和41年に建設され供用開始から約50年が経過しており、老朽化が進み適正な処理ができなくなる恐れがあるため、衛生センターのし尿・浄化槽汚泥の処理を受入れるためのし尿処理施設の整備を行う。	71,084,070	事務事業評価		・衛生センターの老朽化が著しく、早急に新しい施設を整備する必要がある。 ・受入施設の整備については、周辺環境等に配慮し行う必要がある。	R1年度から開始した公共下水道赤羽根浄化センターし尿等受入施設建設工事を継続した。(R3年12月完成予定)	・し尿等受入施設の建設を計画どおり進め、R4年1月から赤羽根浄化センターでのし尿等の受入を開始し、下水道と共同処理する。 ・共同処理開始後はし尿処理施設の廃止、解体工事を進める。		
	40607040		57,691,450	1	上下水道部 下水道課					
	し尿処理施設整備事業		13,392,620	2	川口 容央					
			418,879,332	3	極めて高い					
			409,984,540	4	高い					
8,894,792	5	高い								
						改善の効果	高い			
55	自然環境の保全	市民と協働して地域の里山を保全するとともに、里山の保全に関する知識・技能を習得した人材の育成を図る。	841,327	事務事業評価		・「たはら里山の会」による里山保全スキルアップ研修会を毎月開催している。 ・高齢等の理由により「たはら里山の会」の会員数が減少している。 ・里山保全活動団体の自立、人材育成が必要である。	・スキルアップ研修会の継続開催及び研修内容(倒木の方法、チェーンソーの手入れ等)の充実を図った。 ・田原市社会福祉協議会が主催するボランティア連絡協議会で「たはら里山の会」の会員を募集した。	・継続して「たはら里山の会」をPRし、会員の維持・増加を目指す。 ・里山保全活動への支援を継続して行う。		
	40701010		69,000	1	都市建設部 街づくり推進課					
	里山保全推進事業		772,327	2	大羽 剛					
			741,610	3	普通					
			18,000	4	普通					
723,610	5	普通								
						改善の効果	普通			
56	自然環境の保全	林道は、森林保全整備のために不可欠な道路であるとともに、昨今は地域住民が散策路として利用するなど地域に必要な道路となっている。しかし、山中の道路は破損等が生じやすいため、常に適正で良好な状態を維持することを目的として、整備や補修等を行う。	3,150,001	事務事業評価		林道は森林保全整備等に必要の道路であるが、山中の道路は破損等生じやすく、定期的に整備や補修が必要となっている。	林道(衣笠線・芦西浦線)の保全管理のため、草刈等を委託し、維持管理を図った。 林道奥山線の路面の補修及び草竹等の除去を実施し、維持管理を図った。	林道を保全するため、古い基準で整備された舗装部分を、順次補修していく必要がある。 林道の保存のための継続的な維持管理を実施する。		
	40701020		1,692,973	1	産業振興部 農政課					
	林道整備事業		1,457,028	2	河邊 俊和					
			2,843,144	3	普通					
			1,567,054	4	普通					
1,276,090	5	普通								
						改善の効果	高い			

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		1 担当部課名	2 評価責任者氏名			
事務事業名		事務事業の目的	R2決算額(円)	3 妥当性評価				
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
57	自然環境の保全	本市の松林は、潮害防備、風害防備等多面的な機能を担っている。この松林を保全するため、松くい虫防除対策として薬剤空中散布及び伐倒駆除を実施するとともに、薬剤樹幹注入を行い松の抵抗性を高めることで保安林の再生や機能維持を図る。	26,287,402	事務事業評価		西の浜保安林は松くい虫の影響により失われつつある。この保安林の持つ公益的機能(飛砂防備等)を維持し、農村環境及び農地の保全を図り、本市の農業を持続的なものとするため、松くい虫防除を継続して実施する必要がある。	国の補助金を活用し、松枯れの原因となるセンチュウを媒介する昆虫駆除事業を実施し、保安林の維持を図った。また、被害木の伐倒により、媒介昆虫の駆除に努め、被害拡大を防いだ。	国の補助金を活用し、既存の事業と併せながら、計画的かつ効果的に防除事業を継続実施する。被害木を迅速に伐倒処理し、松くい虫による被害の拡大が抑えられるよう努める。樹幹注入事業は薬の効果の切れる(6年間)前に計画的に事業に取り組む必要がある。
	40701030		23,093,967	1 産業振興部 農政課				
			3,193,435	2 河邊 俊和				
	森林病害虫防除事業		26,312,441	3 高い				
			23,182,250	4 高い				
		3,130,191	5 高い					
				改善の効果		高い		
58	自然環境の保全	東三河地域の森林は、田原市のみならず豊川流域市町村の大切な財産である。この財産を流域市町全体で保全することを目的として、東三河農林水産事務所管内の森林振興にかかる諸活動(事業、調査、研修等)を行う。また、松くい虫によって枯死した地域の松林を復元するため、抵抗性松を配布する。	4,246,735	事務事業評価		松くい虫等により失われた松林(保安林)等の早期再生と、現存する保安林の効果的な保全管理が必要である。	保安林の効果的な保全管理方法を模索するため、森林の植生調査を実施した。抵抗性松を確保し、地元と小学校の協力により、抵抗性松を児童の記念植樹として保安林の復元を図った。	継続的に抵抗性松を確保し、森林(保安林等)の早期復元に努める。松林の植生調査を実施し、健全な森林環境のより効果的な保全管理を実施する。森林環境譲与税を活用した森林整備や木材利用の推進等に取り組む必要がある。
	40701040		2,185,584	1 産業振興部 農政課				
			2,061,151	2 河邊 俊和				
	森林整備促進事業		4,730,447	3 普通				
			2,274,602	4 普通				
		2,455,845	5 普通					
				改善の効果		高い		
59	自然環境の保全	動植物の保護及び生息調査を行うことにより、動植物の保全を図る。鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を図り、もって生物の多様性の確保を図る。特定外来生物を駆除し、その生息域の拡大を防止し、生活環境と生物多様性の保全を図る。	23,007,453	事務事業評価		・アカウミガメ調査員を委嘱し、上陸・産卵等の実態を把握している。 ・田原市アルゼンチンアリ対策協議会への補助金を交付。(補助率10分の10) ・人員不足によりアカウミガメの調査活動が広域展開できない。 ・市民、行政が一体となって防除を実施しているが、根絶には至っていない。	・協議会によるアルゼンチンアリの一斉防除を実施し、生活環境被害の低減、生息域の拡大抑制等の効果が確認された。生息域内部の防除に加え、生息域外縁部の重点防除を行った。	・アカウミガメの調査・保護活動を継続的に実施する。 ・アルゼンチンアリの生息範囲縮小、根絶に向け、国立環境研究所の専門家によるアドバイスを取り入れ、愛知県と協力して防除を実施する。また、重点防除区域を設定し、生息区域の縮小化を図る。
	40702010		12,618,558	1 市民環境部 環境政策課				
			10,388,895	2 河合 義弘				
	動植物保全対策事業		22,955,271	3 高い				
			12,542,859	4 高い				
		10,412,412	5 普通					
				改善の効果		普通		
60	緑と景観の保全	田原市の優れた景観を資産として生かし、美しい渥美半島を次世代に継承するため、景観施策を実施するとともに、渥美半島菜の花浪漫街道の普及・啓発等を行う。	10,717,772	事務事業評価		・景観施策の周知・普及・啓発を行っており、そのなかで、地域が取り組む景観に配慮したまちづくり活動に対する支援を行っている。 ・良好な景観形成及び景観を活用したまちづくりを進めていくため、景観行政の方向性を整理していく必要がある。	・地域・団体等が取り組む景観まちづくり活動に対する支援を行い、住民主体の景観形成に取り組んだ。 ・渥美半島菜の花浪漫街道事業の普及・啓発を行い、市内外への周知や、関係者間の景観に対する意識の共有に取り組んだ。	・継続して、景観まちづくり活動への支援に取り組む。 ・渥美半島菜の花浪漫街道の更なる普及・啓発に努める。 ・景観行政の方向性に於いて整理を行っていく。
	40801010		2,809,806	1 都市建設部 街づくり推進課				
			7,907,966	2 大羽 剛				
	街並景観保全事業		8,952,484	3 高い				
			846,458	4 高い				
		8,106,026	5 普通					
				改善の効果		普通		
61	緑と景観の保全	市民の緑化への関心を高めるとともに、市民との協働により市内の緑化を推進し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指す。	13,248,737	事務事業評価		・緑化推進委員による花壇コンクールの審査を実施している。 ・市民緑化まつりの事務局がイベントの運営主体となっている。 ・沿道花壇の登録は増加しているが、奨励花壇の登録が減少している。	・花壇登録制度の周知を図るため、チラシを作成し配布した。	・市民緑化まつり実行委員会をイベントの運営主体として組織強化を図る。 ・持続可能な緑化推進の取り組みを検討し実践していく。
	40802010		7,909,974	1 都市建設部 街づくり推進課				
			5,338,763	2 大羽 剛				
	緑化推進事業		11,372,387	3 高い				
			4,719,640	4 高い				
		6,652,747	5 高い					
				改善の効果		普通		
62	緑と景観の保全	緑花センターにおいて奨励花壇、沿道花壇、公共花壇に植える花苗を生産し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指し、花いっぱい運動を展開する。	29,551,191	事務事業評価		・花苗の生産及び管理について、さらなる効果的な方法の検討が必要である。 ・奨励花壇等の管理者へ、ポット鉢及びトレー返却の周知を徹底する必要がある。 ・沿道花壇の除草等の管理方法の検討改善が必要である。	・緑化事業の見直しにより閉鎖された赤羽根緑花センターの機能を田原緑花センターに統合した。 ・立地的に効果の薄い直営花壇を廃止し、業務の効率化を図った。	・育苗に関する専門性を高め、花苗の質の向上、育苗コストの削減に取り組む。 ・定植する花苗の種類を検討し、効率的な直営花壇の運営を図る。
	40802020		13,104,215	1 都市建設部 街づくり推進課				
			16,446,976	2 大羽 剛				
	緑花センター運営事業		28,257,767	3 高い				
			12,213,109	4 高い				
		16,044,658	5 高い					
				改善の効果		普通		
63	緑と景観の保全	市民のレクリエーション活動の場の確保、生活環境の保全、都市の安全性の向上及び良好な都市景観の形成などの観点により公園・緑地の整備を図る。	13,380,553	事務事業評価		・中央公園の未整備区域の活用を図る必要がある。 ・生活環境の保全や良好な都市景観の保全等のため、公園・緑地の整備や管理を行う必要がある。	・中央公園の未整備区域について、民間活力の導入を視野に入れた整備手法を検討した。	・中央公園の未整備区域について、調査結果を踏まえた民間活力の導入を視野に入れた整備方針の検討を行う。 ・設置目的や利用実績に応じて、公園施設の適正化を図っていく。
	40803020		4,251,058	1 都市建設部 街づくり推進課				
			9,129,495	2 大羽 剛				
	公園緑地整備事業		7,988,978	3 高い				
			3,245,407	4 高い				
		4,743,571	5 普通					
				改善の効果		高い		

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名			
	事務事業名		R2決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価		
			内 人件費	5 効率性評価				
64	緑と景観の保全	滝頭公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	21,071,080	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した設備の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便性向上を図った。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切に維持管理を行う。 ・キャンプ場の運営方法について検討し、事業の効率化を図る。 ・指定管理料の削減を図る。
	40804010		20,148,580	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛			
			922,500	3 高い	4 高い			
	滝頭公園管理事業		20,866,042	5 高い				
			20,324,000					
		542,042				改善の効果	普通	
65	緑と景観の保全	白谷海浜公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	22,112,923	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した設備の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便性向上を図った。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切に維持管理を行う。 ・指定管理料の削減を図る。
	40804020		20,881,338	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛			
			1,231,585	3 高い	4 高い			
	白谷海浜公園管理事業		21,972,963	5 高い				
			21,169,457					
		803,506				改善の効果	普通	
66	緑と景観の保全	緑が浜公園及び緑が浜2号緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	10,943,395	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した設備の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便性向上を図った。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。 ・指定管理料の削減を図る。
	40804030		10,020,895	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛			
			922,500	3 高い	4 高い			
	緑が浜公園管理事業		10,693,071	5 高い				
			10,151,029					
		542,042				改善の効果	普通	
67	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	69,251,725	事務事業評価		公園等を安全に利用できるようにするために、除草、樹木の剪定、老朽化する遊具の修繕など、継続的な維持管理が必要である	点検の結果、修繕が必要となった遊具や老朽化が進むその他設備の修繕を行い、適正な管理を行った。	老朽化する遊具、設備の修繕とともに、植栽帯等の防草処理対策を進めることで効率的な除草作業の実施を図り、安全かつ適正な維持管理を行う。
	40804050		43,730,288	1 都市建設部 維持管理課	2 小谷 生典			
			25,521,437	3 高い	4 高い			
	都市公園等管理事業		71,797,460	5 普通				
			42,137,558					
		29,659,902				改善の効果	普通	
68	緑と景観の保全	市民の余暇活動等の推進を図る公園施設として、しょうぶ園をはじめ公園内の樹木管理、除草、施設の清掃等を行い、安全で楽しく利用できるよう施設の適正な管理を行う。	12,136,742	事務事業評価		PRに努めているが、まだ知名度が低く来園者が少ない状況である。景観面においても改善する必要がある。	市ホームページで桜やしょうぶの開花状況の配信を行い、初立池カードについては新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、11月から配布LPRに努めた。また、公園内の施設の整備を行い、適正な管理を行った。	今後も引き続き整備を進め、適正な管理を実施し、景観形成に努める。また、初立池カードの配布も継続して行い、知名度を高めるPRを行う。
	40804060		7,751,043	1 渥美支所 地域課	2 鈴木 雅也			
			4,385,699	3 高い	4 高い			
	初立池公園管理事業		10,379,896	5 普通				
			7,629,520					
		2,750,376				改善の効果	普通	
69	緑と景観の保全	臨海緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	33,756,800	事務事業評価		・緑地としての機能を保持するため、継続的な維持管理が必要である。	・定期的に緑地内の除草、樹木の剪定・消毒等を実施した。	・公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安全・安心で心にゆとりを与えるような緑地となるように、適切な維持管理を行う。
	40804070		33,000,205	1 都市建設部 街づくり推進課	2 大羽 剛			
			756,595	3 高い	4 高い			
	臨海緑地管理事業		34,197,628	5 高い				
			33,600,205					
		597,423				改善の効果	普通	
70	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等の樹木管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で楽しく利用できるよう施設の適正な管理を行う。	14,812,000	事務事業評価		施設が老朽化しているため、危険箇所について迅速に修繕等を行い、来園者が快適に利用できるよう、適切に維持管理していく必要がある。	施設内の草刈、樹木剪定等をきめ細やかに行い、利用者の安全が図られた。また、劣化した施設の補修等も行い、適切な維持管理ができた。	施設の老朽化の状況把握を強化し、不具合箇所について迅速に修繕等を実施し、利用者が安心安全で快適に利用できるように適切な維持管理を行う。
	40804080		3,625,018	1 渥美支所 地域課	2 鈴木 雅也			
			11,186,982	3 高い	4 高い			
	都市公園等管理事業(渥美支所)		15,782,604	5 普通				
			3,780,050					
		12,002,554				改善の効果	普通	

No	施策名		R1決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和2年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和3年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード	事務事業の目的		内 直接事業費	1 担当部課名			
	事務事業名	事務事業の目的	R2決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価	
			内 直接事業費	内 人件費				
71	緑と景観の保全	児童に身近で安全な遊びの場を提供し、児童の健康の増進、健全育成を図る。また、児童遊園の適正な維持管理を行う。	1,447,115	事務事業評価		安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。	児童に身近で安全な遊びの場を提供し、児童の健康の増進、健全育成を図った。 また、児童遊園の適正な維持管理を行った。	安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施する。また、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。
	40804090		801,468	1 健康福祉部 子育て支援課				
	児童遊園管理事業		645,647	2 青木 護				
			824,273	3 普通				
			540,315	4 普通				
	283,958	5 普通						
						改善の効果	普通	
72	緑と景観の保全	谷ノ口公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	7,990,449	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・公園内の除草、樹木の剪定、施設の清掃・管理を行い、利用者の利便性向上を図った。 ・公園利用者の安全性を確保するため、AEDを設置した。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。 ・指定管理料の削減を図る。
	40804100		6,758,864	1 都市建設部 街づくり推進課				
	谷ノ口公園管理事業		1,231,585	2 大羽 剛				
			7,409,970	3 高い				
			6,505,259	4 高い				
	904,711	5 高い						
						改善の効果	普通	